

対象年度		令和 4年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート									
事務事業名		消防団活動事業						予算事業名		消防団活動経費			
予 算 科 目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	消防組織法、消防法				
			09	01	02	0502	経常経費						
総合計画体系		住みたい・住み続けたい 安全・快適な都市を目指そう 安全に暮らせるまちづくり 消防体制の強化						事業の区分		主要事業 重点事業 防災安全課 消防防災係			
		事業期間		継続 (平成27年度～ 年度)						担当課係等			
【めざす姿 (意図・どのような状態になるのか)】						【事業開始のきっかけや他市の状況など】							
消防団活動に要する装備品などを充実させることにより、消防団の処遇・活動環境の改善を図る。また、消防団員数の減少や会社員の団員が増加傾向にあるため、平日日中に出勤可能な団員を確保し、本市の防災体制を強化する。						アナログ無線機の使用が令和4年11月で禁止となるため、各分団で使用している無線機のデジタル化が必要となる。平日日中の火災に出勤できる団員が減少傾向にあり、県内市町で機能別消防団員制度を導入しているところが増加している。							
【手段 (事業内容・どのようなことを行うのか)】						【対象 (だれに対して・何に対して行うのか)】							
消防団活動に関する装備品の充実、費用弁償、各種報償制度の実施、関連団体への負担金の支払や火災時における重機借上料。各分団へのデジタルコミュニティ無線機の配備。機能別消防団員制度の新設。新運転免許制度に対応するための準中型運転免許取得補助。						結城市消防団員							
						【事業をとりまく環境の変化】							
						<ul style="list-style-type: none"> アナログ無線機の使用が令和4年11月で禁止となる。 会社員の団員が増加傾向にあり、平日日中の火災に出勤できる団員が減少傾向にある。 新運転免許制度により、準中型運転免許を取得しなければ現行のポンプ車を運転することができない団員が増える。 							
【令和 4年度 事業内容】			【令和 5年度 事業内容】			【令和 6年度 事業内容】							
<ul style="list-style-type: none"> 装備品の購入 機能別消防団員制度の新設 準中型運転免許取得補助 			<ul style="list-style-type: none"> 装備品の購入 準中型運転免許取得補助 			<ul style="list-style-type: none"> 装備品の購入 準中型運転免許取得補助 							

■ 事業費

		R02年度	R03年度		
財 源 内 訳	国 庫 支 出 金	195	0		
	県 支 出 金	0	0		
	地 方 債	0	0		
	そ の 他	0	0		
	一 般 財 源	27,244	30,732		
歳 入 計 (千 円)		27,439	30,732		
歳 出 内 訳	節 (番 号 + 名 称)	金額 (千 円)	金額 (千 円)		
	07 報償費	253	451		
	08 旅費	13,587	13,480		
	09 交際費	15	100		
	10 需用費	5,383	7,195		
	11 役務費	198	769		
	12 委託料	99	66		
	13 使用料及び賃借料	0	160		
	15 原材料費	0	18		
	17 備品購入費	0	403		
	18 負担金補助及び交付金	7,651	7,862		
26 公課費	253	228			
歳 出 計 (千 円) (A)		27,439	30,732		
伸 び 率 (%)			12.00		
備 考	<ul style="list-style-type: none"> 旅費の減：令和3年4月13日付消防地第171号の消防庁通知により、出勤手当等の費用弁償（旅費）を報酬に条例改正するよう求められている。 負担金補助及び交付金の増：準中型免許取得補助（20万円×10人=200万円） 				

令和 2年度行政評価シート

■指標

種類	指標名	単位		R02年度	R03年度	R04年度
活動 指標	消防団入団者数	人	目標	50.00	50.00	50.00
	消防団に新規入団した人数		実績	44.00	0.00	0.00
	被用者数	人	目標	150.00	150.00	150.00
	消防団に所属する被用者数		実績	171.00	0.00	0.00
成果 指標	消防団員数	人	目標	300.00	300.00	300.00
	結城市消防団本部、第1から10分団、女性分団の団員総数		実績	255.00	0.00	0.00
	装備及び安全対策講習会	回	目標	2.00	2.00	3.00
	消防団活動に必要な装備及び安全対策の講習会実施数		実績	2.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	消防団活動に要する装備品などを充実させることにより、消防団の活動環境の改善を図る必要がある。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	消防団活動に要する装備品などを充実させることにより、消防団の活動環境の改善が図られ、地域防災力の強化に繋がる。
	手段の妥当性	A 妥当である	消防団活動に要する装備品などを充実させることにより、消防団の活動環境の改善が図られ、地域防災力の強化に繋がる。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	消防団活動における装備品の必要性を精査し、行政からの支給品・貸与品と各分団独自の装備品の区別をする必要がある。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	全消防団員を対象としているため、偏りはない。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	新たな基準に対する装備品の配備は、消防団活動において有効性が高い。平日日中の活動人員の確保により、さらに地域防災力の向上につながる。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	消防団活動に要する消耗品の配備、更新を順次行っている。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
新基準や総務省の推奨装備品の導入は充実しているが、消防団活動に要する消耗品の配備・更新や、機能別消防団員制度の新設を検討する必要がある。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
消防団活動に必要な行政からの支給品、貸与品を精査し、消防団員へ配備する。また配備している装備品・消耗品の耐用年数等を勘案し更新していく。 機能別消防団員制度の新設を検討し、平日日中の活動人員の確保を改善していく必要がある。			

■方向性

<p>1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））</p> <p><input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input checked="" type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開</p> <p><input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置</p> <p>方向性の具体的内容</p> <p>消防団活動に必要な装備品等は、適切に配備を行っていく。</p> <p>さらに、平成29年3月の運転免許制度の改正により、今後、現行のポンプ車を運転できない団員が増えることは確実であり、補助制度の創設を検討する必要がある。</p>
<p>2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））</p> <p><input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開</p> <p><input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置</p> <p>企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入）</p> <p>上記評価のとおり。</p>